



逗子市子ども・子育て支援事業計画

【総合計画の体系】 1-5 1	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 5 誰もが心豊かに子育てできるまち		
所管名	4150 子育て支援課	<input checked="" type="checkbox"/> リーディング事業 <input type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】 5,760千円
事業名	子育てネットワーク構築事業		

事業概要	目的	子育てに関する情報の一元化、総合化を行い、子育て情報の提供を充実させる。
	対象	子育て中の保護者等
	手段	子育てに関するポータルサイトを構築し、インターネットを活用した情報の発信と収集を一元的、総合的に行う。

年度別計画	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度
	○子育てポータルサイトの構築、運営	→→→→→	→→→→→	→→→→→
	○子育てに関わるネットワーク会議の設置・運営	→→→→→	→→→→→	→→→→→
	・子育て関連情報・課題の共有	→→→→→	→→→→→	→→→→→

目標【2018(平成30)年度】	現状【2013年度末】
子育てに関するポータルサイトがある。	子育てに関するポータルサイトがない。

＜2018年度 進捗状況＞ 事業費(2018(平成30)年度実績額) 円

実施結果	子育てポータルサイトの充実(フェイスブックの活用によりイベント状況を発信等) アクセス数が202,446件/年(16,870件/月) 子育てネットワーク会議の開催(年2回) 子育てポータルサイト「この情報についてのご意見・ご感想をお聞かせください!」欄 年間集計 【役立ったか】役に立った 24件 ふつう 9件 役に立たなかった 8件 【分かりやすかったか】分かりやすかった 19件 ふつう 14件 分かりにくかった 8件 【見つけやすかったか】見つけやすかった 18件 ふつう 20件 見つけにくかった 3件	
反省点・問題点	スマートフォンで見ると人が多いことを踏まえ、えがおレポートの文章をあまり長くない、写真を多用するなど見やすく最後まで読んでもらえる工夫をしているが、読みやすさに重点を置くと内容が薄くなり、バランスが難しい。各ページごとに分かりやすさなどの意見を聞くことはできるが、ポータルサイト全体の意見を聞くことができないため聞けるようにしたい。	工夫している点 利用者の視点に立った情報提供として、子育て中の市民ママのレポートを掲載している。子育てネットワーク会議では第1回は「～他市町の子育て支援を参考に～逗子の子育ての未来を描く」第2回は「逗子での子育てについて」をテーマに開催し、色々なk弱度から子育てに関する情報を収集している。

＜目標【2018年度】に対する評価＞

目標達成状況	結果	個別事情 (社会状況変化等考慮すべき事情)	事業評価
昨年度に比べポータルサイトのアクセス数が416件/月の増加となった。ネットワーク会議では、活発な意見交換が行われた。	ア 目標を達成できた		(a)順調である

＜審議会・懇話会等の意見＞

	審議会等が 妥当と考える 評価区分
--	-------------------------

逗子市子ども・子育て支援事業計画

【総合計画の体系】 1-5 2	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 5 誰もが心豊かに子育てできるまち
--------------------	---

所管名	4150 子育て支援課	<input checked="" type="checkbox"/> リーディング事業 <input type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】	13,192 千円
-----	-------------	--	--------------------	-----------

事業名	体験学習施設講座等事業			
-----	-------------	--	--	--

事業概要	目的	児童青少年の健全育成。		
	対象	市民及び児童青少年		
	手段	体験学習施設における講座等のイベントの実施並びに貸館業務の実施。		

年度別計画	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度
	○体験学習施設の企画運営委員会企画事業の実施	→→→→→	→→→→→	→→→→→
	・企画運営、実施に携わる人材の育成講座の実施	→→→→→	→→→→→	→→→→→
	○実行委員会形式による体験学習施設まつり等の実施	→→→→→	→→→→→	→→→→→

目標【2018(平成30)年度】		現状【2013年度末】	
・延べ受講者数1,500人 利用者数45,000人		開所されていない。	

＜2018年度 進捗状況＞	事業費(2018(平成30)年度実績額)	720,326 円
---------------	----------------------	-----------

実施結果	主催講座20講座実施 受講者数述べ1,268人 ＊講座の参加者のアンケートを毎回実施し概ね高評価を得ている。 体験学習施設利用者数 児童青少年8,908人 大人5,796人 スマイルまつり 3,000人		
------	--	--	--

反省点・問題点	スマイル利用者の増加を目指す努力を重ねてきた中、子どもの利用者が減っている。緊急財政対策により開館時間の短縮をしたが、短縮した時間帯の利用者は以前から少なく影響は少ないと考える、また、多目的室で行えるスポーツに関し貸出できるものを制限したことで利用者が減った経緯もある。今後開館時間も含め、子ども利用者増に向けた取り組みを重ねていく。	工夫している点	スマイルニュースに講座開催記事を掲載し、個別の講座チラシも同時に学校を經由して児童生徒に配布している。
---------	---	---------	---

＜目標【2018年度】に対する評価＞

目標達成状況	結果	個別事情 (社会状況変化等考慮すべき事情)	事業評価
講座に関して子どもが参加する人数に波があるようで、今後、より内容の充実を図っていく。	イ 目標を達成できなかった	緊急財政対策により開館時間の短縮もあったが、子どもの利用者は減っている。	(b)概ね順調であるとみなせる

＜審議会・懇話会等の意見＞

	審議会等が妥当と考える評価区分
--	-----------------

逗子市子ども・子育て支援事業計画

【総合計画の体系】 1-5 3	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 5 誰もが心豊かに子育てできるまち
--------------------	---

所管名	4150 子育て支援課	<input type="checkbox"/> リーディング事業 <input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】	千円
-----	-------------	--	--------------------	----

事業名	子育て支援センター運営事業			
-----	---------------	--	--	--

事業概要	目的	子育て中の保護者からの相談を受けるほか、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。
	対象	乳幼児を子育て中の保護者等
	手段	桜山に施設を設置し、アドバイザーを配置。フリースペースとして子どもを遊ばせる中からの相談、必要に応じた個別相談を電話・来所・訪問の方法で行う他、巡回相談を実施する。

年度別計画	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度
	○子育て支援センターでの子育て相談の実施 ○沼間、小坪の子育て・子育て応援拠点での巡回相談の実施(月4回) ○巡回相談の拡充の検討	同左	同左	同左

目標【2018(平成30)年度】		現状【2013年度末】	
年間15,000人が来所。 子育てネットワーク構築事業と連携した情報提供ができています。		子育て支援センター来所者:5,446組11,627人 小坪親子遊びの場(巡回相談)来所者:181組385人 沼間親子遊びの場(巡回相談)来所者:516組1,174人	

＜2018年度 進捗状況＞	事業費(2018(平成30)年度実績額)	17,042,537円
---------------	----------------------	-------------

実施結果	桜山の子育て支援センターの相談と沼間親子遊びの場、小坪親子遊びの場で毎週1回巡回相談を実施した。 平成30年度子育て支援センター利用実績 年間開所日290日 利用者数4,680組10,433人 小坪巡回相談49回開催 利用者数136組305人 沼間巡回相談50回開催 利用者数303組708人 子育て支援センター・ほっとスペース利用者合計 30,173人
------	--

反省点・問題点	小坪ほっとスペースについては、イベントを開催するなど周知に力をいれている。一方子育て支援センターについては、「場の雰囲気になじめず利用しづらい」との声がネットワーク会議ででており、対策を考えていく。	工夫している点	子育て支援の施設がそれぞれの特色を持って運営できるよう取り組んでいる。子育て支援センターは相談ができる子育て施設としての特色を活かしている。
---------	---	---------	--

＜目標【2018年度】に対する評価＞

目標達成状況	結果	個別事情 (社会状況変化等考慮すべき事情)	事業評価
年間来所数:11,446人 ネットワーク会議でのご意見が多かったイベント情報、施設の紹介などの情報を提供した。 (29年度は12,035人)	ア 目標を達成できた	子育て支援センター、体験学習施設スマイル、ほっとスペース等を利用する利用者が分散している。0～3歳児人口の減少H27年比△54人	(a)順調である

＜審議会・懇話会等の意見＞

	審議会等が妥当と考える評価区分
--	-----------------



返子市子ども・子育て支援事業計画

【総合計画の体系】 1-5 4	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 5 誰もが心豊かに子育てできるまち
--------------------	---

所管名	4150 子育て支援課	<input type="checkbox"/> リーディング事業 <input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】	千円
-----	-------------	--	--------------------	----

事業名	妊産婦・乳児訪問事業			
-----	------------	--	--	--

事業概要	目的	安全な妊娠・出産の確保、安心して子育てできる環境の確保及び個人の健康状態に応じた支援環境の確保を目的とし、妊娠期から産後まで一貫した相談を行う。
	対象	妊産婦と乳児
	手段	保健師による乳幼児妊産婦の訪問指導のほか、助産師による初妊婦、初産婦、ハイリスク妊婦、ハイリスク産婦、新生児に対する訪問指導を全ての乳児のいる家庭を対象に実施。

年度別計画	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度
	○保健師による乳幼児妊産婦の訪問指導のほか、助産師による初妊婦、初産婦、ハイリスク妊婦、ハイリスク産婦、新生児に対する訪問指導を全ての乳児のいる家庭を対象に実施。	同左	同左	同左

目標【2018(平成30)年度】	現状【2013年度末】
保健師及び助産師がすべての乳児のいる家庭を訪問し、相談に応じている	保健師、助産師が訪問や相談に応じている。

<2018年度 進捗状況>	事業費(2018(平成30)年度実績額)	2,871,109 円
---------------	----------------------	-------------

実施結果	対象者 358人 訪問352人 訪問率98.3%	
	※平成22年度より国事業としての新生児・乳児全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)として開始。周知が進んだこともあり順調に訪問数をキープしている。	
反省点・問題点	里帰り出産の場合の滞在先市町村との調整や母と子の住所が違う場合など複雑な事情を持つ家庭増え、調整に苦慮することがある。	工夫している点 全数把握に向けて市保健師、訪問を担当する雇い上げの保健師、助産師が協力しながら対象家庭に寄り添うよう工夫している。年1回、訪問担当者が集まり情報共有する場を設け、対応の質の向上を高めている。

<目標【2018年度】に対する評価>

目標達成状況	結果	個別事情 (社会状況変化等考慮すべき事情)	事業評価
出産後4月以内に乳児のいる家庭すべてに訪問し、相談に応じている。4月以内に訪問できなかった場合は4か月健診にて現認している。	ア 目標を達成できた		(a)順調である

<審議会・懇話会等の意見>

	審議会等が妥当と考える評価区分
--	-----------------



返子市子ども・子育て支援事業計画

【総合計画の体系】 1-5 5	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 5 誰もが心豊かに子育てできるまち
--------------------	---

所管名	4150 子育て支援課	<input type="checkbox"/> リーディング事業 <input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】	千円
-----	-------------	--	--------------------	----

事業名	子ども相談室運営事業			
-----	------------	--	--	--

事業概要	目的	児童福祉法に基づく要保護児童対策ネットワーク会議を中心に児童相談所や警察署、保健福祉事務所等と連携をとりながら必要な情報の提供、家庭その他からの相談に応じ、必要な調査指導を行う。
	対象	18歳未満の児童とその保護者
	手段	子ども相談室を設置し、子ども相談員を配置する。児童やその保護者に関する情報収集や指導について、子ども相談員を中心に要保護児童対策ネットワーク会議で情報共有を行う。

年度別計画	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度
	○要保護児童対策ネットワーク会議を中心に関連期間と連携しながら対象者への支援、情報収集を行い児童虐待への対応を行う。	同左	同左	同左

目標【2018(平成30)年度】	現状【2013年度末】
要保護児童対策ネットワーク会議を中心としたさまざまな関係機関との連携が今まで以上に充実し、対象者への支援が組織的に行われる。	要保護児童対策ネットワーク会議を中心に対象者への支援を行っている。

＜2018年度 進捗状況＞	事業費(2018(平成30)年度実績額)	51,864 円
---------------	----------------------	----------

実施結果	要保護児童対策ネットワーク会議開催実績 代表者会議 1回 実務担当者会議 1回 ネットワーク会議 30回 進行管理実務担当者会議 12回 主任児連絡回 12回 子育て支援センター・ファミサポ連絡会 12回 虐待児童数 身体的虐待 6 心理的虐待 33 ネグレクト 26 性的虐待 0 その他 6 計71
------	--

反省点・問題点	相談員の経験年数に差がある中での担当地区間の対応差異が生じない形の模索。県下でも有数のシステム構築をしている市町村で死亡事例が発生する等、システム・サービスを充実しただけでは防ぎようのない事例発生の恐れが常にある。	工夫している点	課内や他課を問わず対象児童に関する情報連携に努めている。母子保健、児童手当、児童扶養手当等の担当が同課内にいるメリットを最大限に生かすようにしている。
---------	---	---------	---

＜目標【2018年度】に対する評価＞

目標達成状況	結果	個別事情 (社会状況変化等考慮すべき事情)	事業評価
児童相談所や警察署、保健福祉事務所等と連携をとっている。加えて、教育部に入り幼・保・小・中・療育教育相談センター等と連携も進めている。	ア 目標を達成できた		(a)順調である

＜審議会・懇話会等の意見＞

	審議会等が妥当と考える評価区分
--	-----------------

逗子市子ども・子育て支援事業計画

【総合計画の体系】		第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち		
1-5 6		5 誰もが心豊かに子育てできるまち		
所管名	4150 子育て支援課	<input type="checkbox"/> リーディング事業	<input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】 千円
事業名	ファミリーサポートセンター運営事業			
事業概要	目的	地域における育児の相互援助活動を推進する。		
	対象	子育て中の保護者等		
	手段	乳幼児や小学生等がいる家庭の児童の預かりの援助を受けたい者と援助を行いたい者が会員となり、ファミリーサポートセンターが連絡調整を行う。		
年度別計画	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度
	○社会福祉法人青い鳥に運営を委託し、通常の預かりに加え病児・病後児預かりも実施。	社会福祉法人青い鳥に運営を委託し、通常の預かりに加え病児・病後児預かりも実施。	同左	同左
	目標【2018(平成30)年度】		現状【2013年度末】	
	ファミリーサポートセンター支援会員が500人になっている。 病児・病後児預かりについて市民に周知がされ、病児・病後児預かりができる支援会員が増えてきている。		依頼会員956人 支援会員279人 両方会員(依頼会員かつ支援会員である会員)169人 *病児・病後児預かりは2014年度(平成26年度)より開始。	

<2018年度 進捗状況>	事業費(2018(平成30)年度実績額)	10,275,432 円
---------------	----------------------	--------------

実施結果	平成30年度会員数 依頼会員 1,162人 支援会員 252人 両方会員 176人 病児預かり可能会員 17人	
反省点・問題点	支援会員・両方会員の実態を把握するため、直近3年間活動実績のない会員にアンケート調査を実施した。病児・病後児預かりについては「方が一の時の保険」として登録のみしておくケースが多いが、支援会員からは「打ち合わせだけで実際の預かりがないと徒労感を感じる」との声もあり、支援会員の心情に配慮したマッチングが必要だと感じる。	工夫している点 支援会員の研修会の情報をポータルサイト等で積極的に行った。病児・病後児預かりに対する助成制度を行っている。

<目標【2018年度】に対する評価>

目標達成状況	結果	個別事情 (社会状況変化等考慮すべき事情)	事業評価
支援会員+両方会員=428人 病児・病後児預かりの利用申請者13人(昨年度33人)	ア 目標を達成できた		(a)順調である

<審議会・懇話会等の意見>

	審議会等が妥当と考える評価区分
--	-----------------